

《平成31(2019)年度》 東京芸術文化創造発信助成 【長期助成プログラム】

助成金交付申請書

公益財団法人東京都歴史文化財団 理事長 殿

1 申請団体名：
団体(事務所)所在地：東京都〇〇区〇〇〇**ー**ー**
〇〇〇〇ビル***号室

代表者役職名：理事長
2 代表者氏名：〇〇 〇〇

下記の事業を行いたいのので、東京芸術文化創造発信助成金交付要綱(長期助成)に基づき助成金の交付を申請します。
なお、申請関係書類に記載した個人情報については、公募ガイドライン8に基づき、公益財団法人東京都歴史文化財団へ提供・利用することについて承諾いたします。

フリガナ
申請事業名

活動分野
(上段5つの分野から複数選択可、または下段「複合」を選択)
4
□音楽 □演劇 □舞踊 □美術・映像 □伝統芸能
□複合(核となる分野を特定できない活動)
実施場所
□都内 □海外 □都内及び海外
実施年数 5 3 年
活動内容
6
□芸術創造活動 □芸術創造環境の向上に資する活動
総事業費(予定) 7 25,000,000 円
助成申請総額 8 12,000,000 円

1 事業の趣旨・目的

● 欄の追加・削除及び分割をしないでください
● 記入事項は既定の欄内に収め、欄の高さの変更を避けてください
● 欄内での「改ページ」はしないでください
(欄内での改行は可能です)

2 事業の内容(プログラム、主なアーティスト・スタッフ等)

申請事業の概要

申請事業の概要	③ 実施スケジュール
	1年目：
	2年目： 9
	3年目：

●この事業の実施に至る経緯・企画背景について具体的にお書きください。

10

●この事業全体の達成目標について、具体的にお書きください。

10

●この事業は当該分野や周辺分野、芸術文化全体、あるいは社会に対してどのような意義や波及効果があると思いますか？

10

●この事業は貴団体の今後の活動において、どのような意義があると思いますか？

10

●この事業を遂行するためのマネジメント体制について具体的にお書きください。

10

●審査基準：ガイドライン「2. 助成の基本方針（2）すべてに共通の審査基準」に記載の①革新性・独創性、②影響力・普及力、③国際性、④将来性・適時性、⑤継承性（伝統芸能分野の場合）において申請事業が特にアピールする点について、その内容を具体的にお書きください。※複数選択可

10

1年目の活動計画

申請事業名	
申請団体名	

●1年目の達成目標（中間目標）

(申請事業全体の達成目標に照らし、1年目の目標をお書き下さい)

11

●1年目の活動概要（下記の①から⑦について、実施する活動ごとにお書きください）

〈活動名または活動形態：アメリカでのリサーチ・レジデンシー〉

- ① 活動の趣旨・目的：劇作家・演出家の〇〇と当劇団員が〇〇に滞在し、アメリカの舞台芸術の文脈をリサーチしながら、異なる文化的背景を有するプロジェクト・パートナーと共に既存の枠にとどまらない新しい表現形態や演劇的实践を開発する。戯曲執筆とワークショップの実施を通して、観客や現地の専門家との対話を試み、戯曲の草稿やプロジェクトのコンセプトの強化を進める。
- ② 活動の内容・プログラム：リサーチ活動及び打合せ、〇〇〇〇をテーマに〇〇〇〇を対象としたワークショップを実施。
滞在メンバー：〇〇（劇作家・演出家）、〇〇（制作・通訳）、劇団〇〇団員〇〇、〇〇、計〇名
現地プロジェクト・パートナー：〇〇カンパニー・メンバー〇〇、〇〇、〇〇
- ③ 実施場所または会場（所在地）：〇〇アートセンター（アメリカ・ニューヨーク）
- ④ 実施時期：2018年8月〇日～8月〇日（予定） 12
- ⑤ 実施回数・日数：〇日間滞在、内ワークショップ〇日間
- ⑥ 参加者数・観客数：WS参加者〇名、〇〇、〇〇 計〇名
- ⑦ 事業費（円）：1,500,000円

〈活動名または活動形態： 招聘ワークショップの実施と協働ワークインプログレスの発表〉

- ① 活動の趣旨・目的：アメリカでのリサーチ・レジデンシーのカウンターパートとして、プロジェクト・パートナーの演出家〇〇氏及びアシスタント〇〇氏を招聘し、東京滞在を反映させた戯曲の第一稿をもとに、〇〇〇〇を対象としたワークショップを実施。最終日にワークインプログレスとして発表する。この成果を2年目の活動につなげる。
- ② 活動の内容・プログラム：招聘ワークショップの実施と協働ワークインプログレスの発表。
招聘ゲスト：〇〇（演出家）、〇〇（アシスタント）
当劇団〇〇〇、〇〇〇、計〇名
- ③ 実施場所または会場（所在地）：〇〇スタジオ（東京都〇〇区）
- ④ 実施時期：2019年1月〇日～1月〇日（予定）
- ⑤ 実施回数・日数：〇日間滞在、内ワークショップ〇日間
- ⑥ 参加者数・観客数：WS参加者〇名、観客〇名 〇〇、〇〇 計〇名
- ⑦ 事業費（円）：2,500,000

●主催・共催・助成・提携・協賛・後援等とその役割

名義	該当する活動名	団体名	役割
主催		13	
1年目の総事業費		1年目の助成申請額	
14	4,000,000	円	15 2,000,000 円

2年目の活動計画

申請事業名	
申請団体名	

● 2年目の達成目標（中間目標）

（申請事業全体の達成目標に照らし、2年目の目標をお書き下さい）

16

● 2年目の活動概要（下記の①から⑦について、実施する活動ごとにお書きください）

〈活動名または活動形態： _____〉

- ①活動の趣旨・目的：
- ②活動の内容・プログラム：
- ③実施場所または会場（所在地）：
- ④実施時期：
- ⑤実施回数・日数：
- ⑥参加者数・観客数：
- ⑦事業費（円）：

17

〈活動名または活動形態： _____〉

- ①活動の趣旨・目的：
- ②活動の内容・プログラム：
- ③実施場所または会場（所在地）：
- ④実施時期：
- ⑤実施回数・日数：
- ⑥参加者数・観客数：
- ⑦事業費（円）：

● 主催・共催・助成・提携・協賛・後援等とその役割

名義	該当する活動名	団体名	役割
主催		13	
2年目の総事業費		2年目の助成申請額	
18	8,500,000	円	19 4,000,000 円

3年目の活動計画

申請事業名	
申請団体名	

● 3年目の達成目標（最終目標）

（申請事業全体の達成目標に照らし、3年目の目標をお書き下さい）

16

● 3年目の活動概要（下記の①から⑦について、実施する活動ごとにお書きください）

〈活動名または活動形態： _____〉

- ①活動の趣旨・目的：
- ②活動の内容・プログラム：
- ③実施場所または会場（所在地）：
- ④実施時期：
- ⑤実施回数・日数：
- ⑥参加者数・観客数：
- ⑦事業費（円）：

17

〈活動名または活動形態： _____〉

- ①活動の趣旨・目的：
- ②活動の内容・プログラム：
- ③実施場所または会場（所在地）：
- ④実施時期：
- ⑤実施回数・日数：
- ⑥参加者数・観客数：
- ⑦事業費（円）：

● 主催・共催・助成・提携・協賛・後援等とその役割

名義	該当する活動名	団体名	役割
主催			
3年目の総事業費		3年目の助成申請額	
18	12,500,000	円	19 6,000,000 円

記入の手引き【助成金交付申請書】長期助成プログラム (1/2)

番号	項目	記入上の注意
①	団体(事務所)所在地	マンション名・ビル名及び部屋番号、「〇〇様方」まで記入してください。 なお、東京都内に本部事務所がない場合は申請できません。
②	代表者役職名 代表者氏名	代表者の役職名を必ず記入し、記名押印してください。法人格を有する団体の場合は、社判を、任意団体で社判がない場合は代表者印を押印してください。
③	申請事業名	事業名(2年間または3年間の活動の総称)を記入してください。
④	活動分野	該当する口について、■または✓を記入してください。複合分野の活動の場合、核となる分野があれば、()内から口を1つ選択し、■または✓を記入してください。
⑤	実施年数	「2」または「3」と記入してください。 2年間:2021年3月31日までに終了する場合 3年間:2022年3月31日までに終了する場合
⑥	活動内容	ガイドライン1.(2)に記載の2種類の活動内容のうち、下記のいずれかに該当する方に、■または✓を記入してください。 ・芸術創造活動を主とするもの ・芸術創造環境の向上に資するもの
⑦	総事業費(予定)	事業全体(2年間または3年間に実施する全ての活動)の事業費の総額を「円」で記入してください。1～3年目の「活動計画」下欄右に記載の額(⑭⑮)の合計です。(1年目は活動ごとに作成する収支予算書の「支出合計額」の総額) *事業費とは「ガイドラインの「別表1」に掲載する助成対象経費及び助成対象外経費」の合計額に相当します。
⑧	助成申請総額	事業全体(2年間または3年間に実施する全ての活動)の助成申請総額を「円」で記入してください。なお、「芸術創造活動を主とする活動」は、3年間の総額が1200万円(2年間の場合は総額800万円)が上限額で、補助率(助成対象経費に対する助成額の割合)は助成対象経費の1/2以内となります。「芸術創造環境の向上に資する活動」は、3年間の総額が600万円(2年間の場合は総額400万円)が上限額で補助率は2/3以内となります。
⑨	申請事業の概要	項目①②:簡潔かつ具体的に記入してください。補足資料として企画書等を提出する場合も「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。 項目③:各年の大まかな実施スケジュール(実施時期、実施場所及びリサーチ、ワークショップ、公演等の活動内容)について、簡潔に記入してください。補足資料として企画書等を提出する場合も「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。
⑩		各項目について、簡潔かつ具体的に記入してください。補足資料として企画書等を提出する場合も「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。

記入の手引き【助成金交付申請書】長期助成プログラム（2/2）

番号	項目	記入上の注意
⑪	1年目の達成目標(中間目標)	事業全体の達成目標に対する1年目の位置付け(中間目標)について、具体的に記述してください。
⑫	1年目の活動概要	2019年4月1日以降、2020年3月31日までに開始する活動について記述してください。活動ごとに①～⑦について記述してください。 *この欄に記述する活動ごとに、収支予算書を作成してください。
		③実施場所または会場(所在地):所在地は都内の場合は区市町村名を、海外の場合は国名・都市名を記入してください。 ⑦事業費(円):活動ごとに作成する収支予算書の「支出合計」額と一致させてください。
⑬	主催・共催・助成・提携・協賛・後援等とその役割	活動ごとに主催名義を必ず記入してください(原則として申請団体名となります)。申請団体の他にも主催者がいる場合、必ずすべての主催者名を記入してください。海外招聘の場合は現地主催者名を記入してください。 また、助成団体等からの助成金・補助金、企業協賛金等についても必ず記入してください。申請中の場合は(申請中)、申請予定の場合は(申請予定)としてください。 その他についても役割や内容を具体的に記入してください。
⑭	1年目の総事業費(円)	「1年目の活動概要」に記載した⑦事業費の総額を「円」で記入してください。 *活動ごとに作成する収支予算書の「支出合計」額の総額と一致させてください。
⑮	1年目の助成申請額(円)	1年目に実施する活動の助成申請額を「円」で記入してください。 *活動ごとに作成する収支予算書の「当助成金申請額」の総額と一致させてください。
⑯	2年目/3年目の達成目標・(中間目標/最終目標)	事業全体の達成目標に対する2年目/3年目の位置付け(中間目標/最終目標)について、具体的に記述してください。
⑰	2年目/3年目の活動概要	2年目:2020年4月1日以降開始し、2021年3月31日までに開始する活動(2年間のプロジェクトの場合は、2021年3月31日までに終了する活動) 3年目:2021年4月1日以降開始し、2022年3月31日までに終了する活動 各年の活動計画について記述してください。活動ごとに①～⑦について予定を記述してください。
		③実施場所または会場(所在地):所在地は都内の場合は区市町村名を、海外の場合は国名・都市名を記入してください。 ⑦事業費(円):事業予算額を活動ごとに記入してください。
⑱	2年目/3年目の総事業費(円)	2年目/3年目に実施する活動の事業費総額を「円」で記入してください。 *【2年目/3年目の活動概要】の「⑦事業費(円)」の総額と一致させてください。
⑲	2年目/3年目の助成申請額(円)	2年目/3年目に実施する活動の助成申請額を「円」で記入してください。
		*「1年目の総事業費」「2年目の総事業費」「3年目の総事業費」の合計額が、助成金交付申請書1枚目の「総事業費(予定)」と合致することを確認してください。
		*「1年目の助成申請額」「2年目の助成申請額」「3年目の助成申請額」の合計額が、助成金交付申請書1枚目の「助成申請総額」と合致することを確認してください。

* Wordファイルの入力について。

- 欄の追加・削除及び分割をしないでください
- 記入事項は既定の欄内に収め、欄の高さの変更を避けてください
- 欄内での「改ページ」はしないでください(欄内での改行は可能です)